

今月の一言

キーワード：万物は流転する

著書：「大局観」 著者：羽生善治（はぶ よしはる）1970年埼玉県生まれ。将棋棋士

本文抜粋：リスクに対する意識は年齢とともに変化 この問題には、千差万別、さまざまなアプローチが考えられる。まず考えなくてはいけないのが対象となる世界のことだ。

「万物は流転する」という言葉があるように、どんなものも一つに止まる事なく変化を続けており、変化のスピードはその対象となる世界によって大きく異なるが、全般的に昨今はスピードが速くなっている。一方で、昔も今も全く変わっていない保守的な世界もある。激流に呑み込まれないように、あえてそのテンポに合わせることは時には必要なのではないか。

「万物は流転する」という言葉に妙に引き付けられて調べてみた。これはBC500年頃のギリシャの哲学者ヘラクレイトスのことばである。「すべてのものは流れる。何ものも存続せず、同じままということはない」と述べ、万物の真の姿は、運動・変化の状態にあると考えた。

2009年10月の今月の一言 「目」が大切や！

“魚（さかな）の目” → 潮の流れ（トレンド）を見る

“鳥の目” → マクロ（広く全体）を見る

“虫の目” → ミクロ（狭く細かく）を見る

2011年7月25日

さいのう とおる

追伸：子供たちは、夏休みに突入。計画的に、宿題は早めに終わらせよう！